

交通事故を防止するために

～歩行者の皆さんへ～

夜間外出するときは…危険がいっぱい！～夜の外出は控えめに！明るいうちに用事を済ませましょう～

●夜の道、車からあなたは見えていない！

歩行者からは車のライトがまぶしいくらい明るく見えますが、車（ドライバー）からは歩行者が見えません。

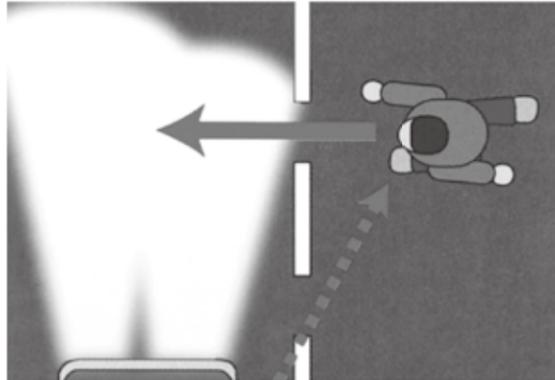


●夜間発見されにくい横断中の歩行者



下向きライトの照らす距離は、とても狭く前方約40mです。運転者が少しよそ見をした場合、発見が遅れ事故につながります。

●右から来る歩行者は特に注意



ライトの照射範囲は、道路の中央から左部分を中心に照らすようになっており、車からは進行方向の右から渡ってくる歩行者の発見が遅れます。

●色別の発見距離



黒っぽい色の服装だと運転者から30m手前ではじめて発見されます。時速40kmの車がブレーキをかけて止まるまでは22mを要します。そのため、少し発見が遅れると事故になってしまいます。

●自己防衛として みんなでつけよう 反射材！



夜は、白っぽい服装や、反射材等で目立つ工夫をしましょう。夜歩いて出かけるときは、玄関を出る前に反射材を着用する習慣をつけましょう。特に反射タスキは、体の前後に加えて側面もカバーしますので、横断中でも目立ちます。

～ドライバーの皆さんへ～

今年は、記録的な猛暑の影響があったのか、ぼんやり運転が原因による事故が多く発生しています。ドライバーの皆さんは常に前方に注意し、歩行者・自転車の動きに気をつけましょう。

夕暮れ時は早めのライト点灯、夜間は原則上向きライトで走行し、先行車や対向車などがあれば、こまめにライトを下向き・上向きに切り替えましょう。

また、同乗者も含めて全席シートベルトを正しく着用して、万が一事故に遭ったときの被害を最小限に抑えましょう。



シートベルトを着用していたため助かった事例【平成21年 市内】

問合せ先 滑川警察署 (☎475-0110)
滑川市交通安全協会 (☎475-7829)
生活環境課 (内線324)

交通死亡事故が増えています

◆滑川市では

平成19年から平成21年までの3年間で1件しか発生しなかった市内の死亡事故が、今年はずでに5件も発生し、うち4件は高齢者が犠牲になっています。(平成22年10月17日現在)

高齢者が犠牲になった4件の事故は、いずれも夕方から夜間の時間帯に発生しており、うち3件は道路横断歩行中の事故です。

●市内の交通事故発生状況 (平成22年10月17日現在)

注()内は高齢者数(内数)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年計	139件(22件)	5人(4人)	159人(17人)
前年同期	142件(25件)	0人(0人)	192人(38人)

◆富山県内でも

今年に入って昨年よりも約1カ月早いペースで交通死亡事故件数が推移しており、特に高齢者が関係する事故が多く、高齢ドライバーによる事故は、昨年と比べて約2倍発生しています。

死者数に占める高齢者の割合は約6割と高く、歩行中・自転車乗車中の事故の大半を占めています。

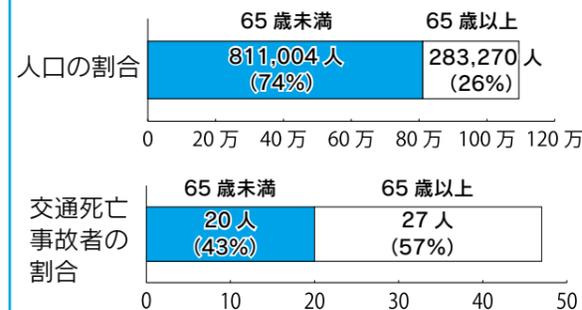
●県内の交通事故発生状況 (平成22年10月17日現在)

注()内は高齢者数(内数)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年計	4,320件(786件)	47人(27人)	4,947人(812人)
前年同期	4,425件(784件)	39人(22人)	5,226人(892人)

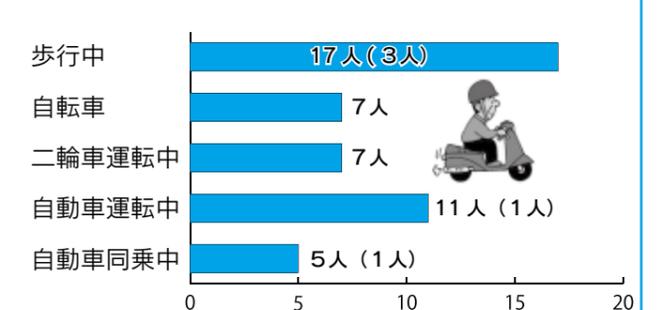
今年の県内における交通死亡事故の特徴

◆県内の人口と交通死亡事故者数



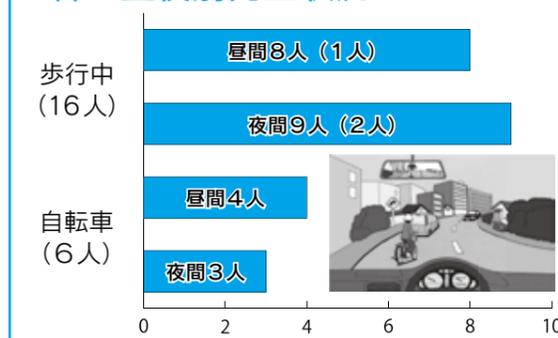
人口の割合に比べ、高齢者が交通事故で亡くなることが多い

◆交通死亡事故者の状態別割合



歩行者と自転車が約半数を占める

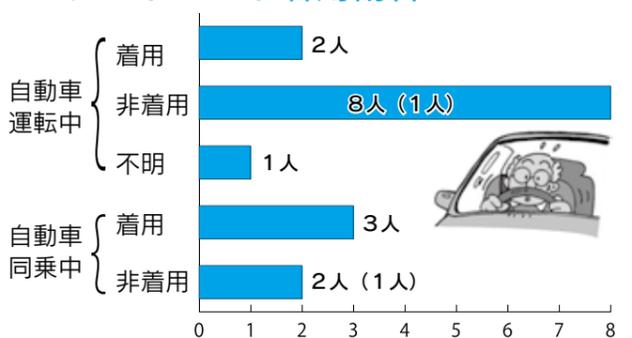
◆歩行中・自転車の交通死亡事故者の昼夜別発生状況



半数が夜間に発生

グラフは平成22年10月17日現在の県内の交通死亡事故件数に基づいて作成(※「人口の割合」は平成21年10月1日現在)

◆自動車乗車中の交通死亡事故者のシートベルト着用割合



シートベルトの非着用が多く、非着用の約3割は車外へ放出されている

※()内は滑川市(内数)